

しょうなめん

Vol. 12

2008年3月号

CONTENTS

- ◇ ドクター紹介.....2
- ◇ 花粉症・アレルギー性鼻炎について.....3
- ◇ 産科外来の今.....5
- ◇ アンケート改善／徳洲会かまくら体操クラブ.....6

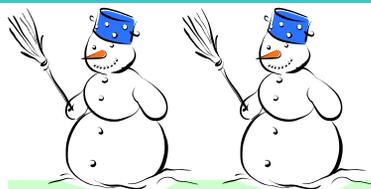


撮影：菅野 博基

医療法人社団 愛心会 湘南鎌倉総合病院

理念

- ◇「生命を安心して預けられる病院」
- ◇「健康と生活を守る病院」



ドクター紹介



外科 渡部 和巨 副院長



外科 渡部和巨（わたなべかずなお）です。よく渡辺和臣と間違えられます。北海道生まれですが、寒いのはとても苦手です。寒を逃れるべく1985年に茅ヶ崎徳洲会総合病院に入職、医師としての修行が始まりました。1988年11月に湘南鎌倉総合病院が開設されたときには初代研修医としてここに入職しましたが、12月の末にグループ病院の外科医の退職に伴い一旦こちらを退職となりました。研修医を終え、1991年4月から再び湘南鎌倉に戻り現在に至っています。地域住民にどんな病気でも最高の医療を旗印にこれまで診療を行ってきました。外科自体は

年間2000件から2500件の手術を頸部から足先まで、あらゆる手術を行ってきました。専門は食道癌、肺癌ですが、乳癌の乳房温存手術には非常に早い時期から深い造詣があります。腹腔鏡による腹部消化器手術、鼠径ヘルニア手術など、先駆的な役割を果たしてきました。

また日本では最初の日帰り手術センターを1995年に開設し、多くの患者様のニーズに応えてきました。1999年からは日本人では初めて痔核手術に自動縫合器を使用した直腸粘膜環状切除による肛門挙上術を行いこれまでに3500例以上を行っています。これは世界で第二位の症例数です。患者様が必要とする治療であれば、積極的に国内、国外を問わず勉強に行くという姿勢をいつも失わずにやってきました。2004年からは下肢静脈瘤に対して、先駆的手術として新型レーザー治療を行い、負担のより少ない治療として、好評を博しています。2007年5月には腹部大動脈瘤に対してお腹を開けずに鼠径部の血管から金属製の筒（ステント）を挿入するステンドグラフト術も始まり、90歳の方でもこの手術の恩恵を受けられるようになりました。外科は各科の緩衝的役割を担う総合病院では欠かせない存在であると自負しています。何科に掛かれば良いか迷った時にも是非外科にお声を掛けて頂ければと思います。

研修医の世界では外科は労働時間が長くきついと言う風評が立ち、実際全国の外科志望者が激減しているのが現状ですが、当院には今年の4月から新たに4名の外科研修医が入職します、きつい以上にやり甲斐のある外科、どんな状況でも患者様を断らず、最善の治療が出来る外科、いつも患者様と共に病気に立ち向かって行く力強い外科を目指してこれからも日夜研鑽していきます。地域の方々のご協力、ご理解、ご鞭撻が無ければ私どもの外科は存在しえないと思っております、至らない点はどしどしご指摘頂きより良き外科医を育てて頂ければ幸いです。宜しくご指導下さい。

花粉症・アレルギー性鼻炎について

スギ花粉症とは、鼻、のど、目の粘膜にスギ花粉が付着することにより、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどや目のかゆみなどが起こるアレルギー反応です。最も知られているスギ花粉以外にも、ヒノキ、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギなど様々な花粉症があり、現在、日本人の約20~30%が何らかの花粉症に罹患しているといわれています。まずは原因を調べることをおすすめします。血液検査で簡単に調べることができます。



花粉症の治療



■ 抗原回避

マスクや眼鏡を装着する、帰宅の際は衣服や帽子をはらう、など花粉をなるべく部屋に持ち込まないようにします。



■ 薬物療法

症状や重症度に応じて選択します。一般的には、初期治療として抗アレルギー剤の内服を行います。飛散のピークが近づき症状が進行した場合は点鼻ステロイド薬を併用します。鼻づまりが強い患者さんには、点鼻血管収縮薬を使用し、鼻の通りをよくしてから点鼻ステロイドを使用することをすすめます。

■ 免疫療法（減感作療法）

花粉のエキスを少量薄め、皮下に定期的に注射していく治療です。体質改善を目的とした治療ですが、治療には数年かかり、有効率も施設により異なります。行っている施設は限られています。

■ 手術療法

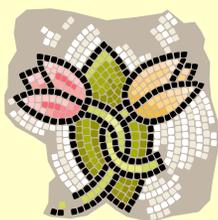
根本的治療ではありませんが、症状を緩和させることができます。特に、1年中を通して存在するホコリやダニに対するアレルギーの患者さんには、レーザーで鼻内の粘膜を焼く治療、超音波メスを用いて鼻内粘膜を切除する治療などが有効です。しかし、花粉症については、現在のところあまり有効ではないといわれています。また、鼻の真中の骨（鼻中隔）が彎曲し、これにより鼻閉をおこしている患者さんや、副鼻腔炎（蓄膿症）を併発している患者さんには、これらに対する治療も必要となります。

花粉症の治療は、各患者さんにとって、最も負担が少なく、かつ効果的に長期間症状をコントロールできる治療法を選ぶことが必要となります。現在、最も一般的で有効といわれているのが薬物療法です。早めに薬を飲み始めた方が、症状が軽くすむといわれています。また、薬物にも様々な種類がありますので、耳鼻咽喉科を受診し担当医とよく相談した上での選択をおすすめします。

耳鼻咽喉科 小林 真由美



産科外来の今



「お産をするところがなくなる、産科医師が少なくなった」と最近妊婦さんを不安にさせるような報道を多く聞くようになりました。たしかに、鎌倉市では平成18年から出産ができる病院は湘南鎌倉総合病院だけになってしまいました。当院での出産を希望されて予約の問い合わせをしてきた妊婦さんのなかには、10件以上の病院で断られました、ここで出産ができることでホットしましたと安堵の表情を見せられる方も少なくないのです。

当院で出産を希望される方はどなたもお断りはいたしません。どなたでも安心して納得できる出産をしていただけるように、医師はじめ助産師、病院職員は心からお待ちしています。その為に妊婦健診に来院された妊婦さんからは、2時間から3時間待ったと、待ち時間が長いことへの不満が聞かれることもあります。

限られたハード部分の中で、いかに効率よく診察が進められるか思考錯誤をして、昨年12月から、新館2階に産婦人科外来を開設、本館の産婦人科外来のブースを助産師外来として使用することで待ち時間の短縮をはかるようにしました。その結果、救急を要する事態がない限り、待ち時間は半分に短縮されたことも事実です。

しかし、時間短縮のみを考えた場合、予約の人数を減らしたり、妊婦健診を3分間診療にすれば簡単に時間短縮は図れます。それでいいでしょうか。もし予約を減らした場合は、診察予約が数ヵ月先になります。妊婦健診は限られた妊娠週数の中で診察し異常を見のがさないようにしなければなりません。先延ばしはできないのです。オーバーワークでも予約をお取りしての健診が必要になります。妊婦さんの中には、突然異常が起こったり、陣痛がいつ起こるかもわかりません。そのような方には予約外でもすぐに来院して頂き、優先して診察をしなければなりません。

また、妊婦さんによっては、診察時間が1時間以上かかる方もいます。助産師は待ち時間があってもじっくりと話を聞き、安心してお帰り頂けるような医療を提供していますので、待ち時間の短縮への努力をしながらも、妊婦さんから待ってでもよかった、安心しましたと笑顔でお帰りいただけるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。

私たちは妊婦さんにささえられてお仕事をさせていただいています。出会いを大切に、お産をされる方とそれを支える家族の皆さんが、納得できる出産をサポートさせていただき、一緒に感動を分かち合えることを楽しみにしています。

産婦人科助産師師長
長谷川 充子

ご意見・ご要望改善報告



入院の会計をする時、
周りから見られないようにして欲しい。

というご意見により…
**入院会計窓口
囲いができました！**

夕診の時間帯まで飲み物を
買えるようにして欲しい。

というご意見により…



新棟外来の自動販売機の時間が延長しました！

速報

徳洲会かまくら体操クラブ

○子ども体操教室 2008年4月15日～

○成人・シニア健康づくり教室

START!

2007年6月湘南モノレール湘南深沢駅前に
完成した「徳洲会スポーツセンターかまくら」で、
2008年4月から有限責任中間法人徳洲会（徳
洲会かまくら体操クラブ）の主催で各種教室を
開始することになりました。同施設は現在は
一般開放をしておりますが、各種教室の詳細
はまもなく書面にてお知らせいたします。



徳洲会スポーツセンターかまくら



2階体操場2

(子ども体操教室・成人・シニア健康づくり教室)



シニア健康づくりイメージ



子ども体操教室